

南予生物(2009) Vol. 15

目 次

<本論文>

四国内の2ダム湖に設置した炭素繊維人工藻場における魚類の出現状況の比較	高橋 弘明・渋谷 雅紀・小島 昭	1
大洲市久米川流域における2008年の水生ホタル2種の発生状況	松田 久司・黒田 慧史	6
愛媛県西部における2008年のヤマアカガエルとニホンアカガエルの卵塊数と産卵地点	松田 久司・黒田 慧史	12
八幡浜から大三島にかけての沿岸及び内湾性プランクトン調査	大本 将人	18

<短 報>

テレビアンテナに営巣するササゴイ	丹下 一彦	30
山口市に生息しているヤブキリ	佐伯 英人	34
小・中・高等学校の授業で解剖をした経験		
—山口大学教育学部学校教員養成課程の学生を対象として—	佐伯 英人	37
奈良川(愛媛県鬼北町)支川から採集されたチョウザメ科(Acipenseridae)魚類	水野 晃秀	39
四万十川水系広見川(愛媛県松野町)から採集されたカマキリ(アユカケ)		
水野 晃秀・山本 孝雄・恩田 勝也	43	
愛媛県千丈川河口域より得られた分布上興味深いハゼ科魚類	辻 幸一・松田 久司	47

<会員通信>

愛媛県で5例目となるカトウツケオグモ(クモ目カニグモ科)の観察例		
瀧野 隆志・松田 久司	52	
四国西南部における迷蝶3種の記録	橋 越 清一	54
愛媛県愛南町におけるコウモリの冬季確認例	橋 越 清一	56
愛媛県来村川河口域で2008年夏に発生した青潮による魚類とカニ類への影響	水野 晃秀	58
20年目を迎える「南予生物教育談話会」	辻 幸一	60

<その他>

図書 INFORMATION	65
編集後記・受贈文献・事務局より・投稿のお願い	69
南予生物研究会会則	73

<表紙説明>

ヤマノイモ *Dioscorea japonica* (ヤマノイモ科)

野山に普通にみられる多年生のつる植物で、地上部は冬には枯れる。地下茎は食用となり、一般にジネンジョ(自然薯)とかヤマイモと呼ばれて食べられている。むかごも食用となる。葉は細長いハート形で、花は黄色、花期は夏、雌雄異株である。葉腋に発生するむかごによって栄養繁殖する。つる性の茎は右巻である。種子は翼果で、風散布種子である。筆者は幼いとき、本種や近縁種のカエデドコロの果実(3つの翼をもつ蒴果)を唾液で鼻の先にくっつけて遊んでいた。

イラスト: 徳岡良則(財団法人農業技術研究所) 解説: 橋越清一(愛媛県立宇和島東高等学校)